

中野区における森林環境譲与税の使途について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	96,757,486	20,039,250	116,796,736	52.1%	未執行額は基金積立て、公共施設への国産木材製品の整備など木材利用、普及啓発に活用する。
譲与額（円）	181,758,000	42,319,000	224,077,000		

■令和7年度の使途

事業名	森林環境譲与税 充当額（円）	事業内容
江原小学校、上鷺宮小学校、白桜小学校、第五中学校、北中野中学校の多摩産材を使用した木製什器類の購入	13,255,000	小・中学校校舎において、児童・生徒が使用するテーブル・椅子など、多摩産材を使用した製品を備品として購入した。
南台図書館児童コーナーの整備	6,215,000	児童コーナーに多摩産材を使用した什器類を整備した。
リサイクル展示室への備品等の整備	404,250	リサイクル展示室のリニューアルに伴い、展示物を置く木製テーブルとごみの分別学習用として木製分別パズル等を導入した。
民有地への木材ベンチ設置助成	165,000	誰でも利用できることを前提として、民有地の敷地内に国産木材を使用したベンチを設置する際に、設置に要した費用に補助金を交付。
環境基金積立金	22,279,750	森林環境譲与税譲与額から事業充当額を除いた残額を中野区環境基金へ積立てた。
合計	42,319,000	

■今後の活用予定

令和8年度は、中野本郷小学校、第二中学校、産業振興センター及び区役所庁舎等への備品整備のほか、食品ロス削減事業の啓発物品の購入や民有地へのベンチ等設置補助事業に活用を予定している。